

# 大麦の継続摂取による体調への効果

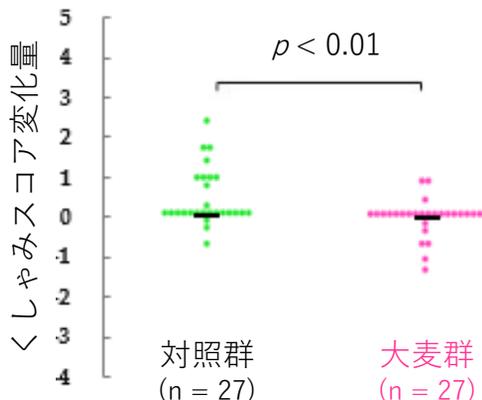
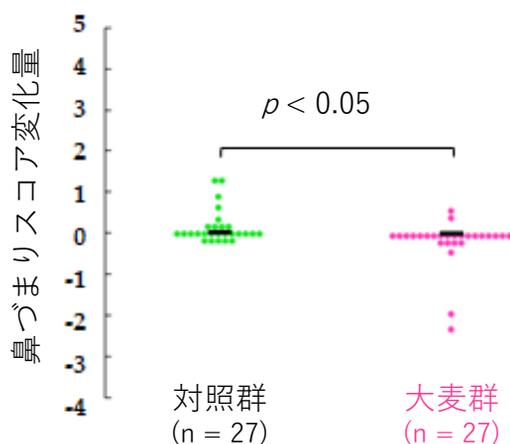
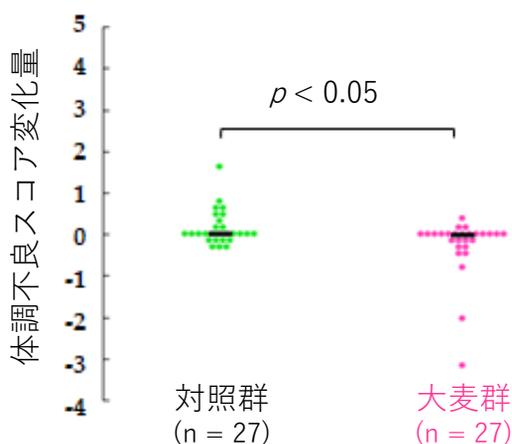
## － 上気道症状の軽減 －

### 成果の特徴

- β-グルカンを高含有するもち性大麦(ダイシモチ)の継続摂取が花粉飛散時期の上気道症状の軽減に対して有効である可能性が示唆されました。

### 成果の内容

健常男女54名を対象とした8週間のランダム化2群並行群間比較試験を実施しました。 Wisconsin上気道症状調査票(WURSS-21)を基にした質問紙調査を試験期間の全日にわたって行ったところ、対照群(白米米飯摂取)に比べて大麦群(ゆで大麦摂取)では体調不良スコアおよび鼻づまり、くしゃみなどの鼻に関係する上気道症状スコアにおいて有意な低下(=改善)が認められました。



- 0 (無症状) ~7 (重度) のスコア
- スコア変化量は1週目と8週目の差分
- 棒線は中央値
- P値はMann-WhitneyのU検定に基づく有意確率

### 想定される用途・連携希望先

さらなる機能の解明に向け、ヒト介入試験の被験食として大麦をご提供いただける精麦企業等との連携を希望します。

### 参考

発表論文: Araki, R., Ishikawa, C., Kawasaki, T., Kobori, T., Shoji, T., Takayama, Y. *Nutrients* (2024), 16, 2298. DOI: 10.3390/nu16142298

本研究は農林水産研究推進事業委託プロジェクト研究「健康寿命延伸に向けた食品・食生活実現プロジェクト(課題番号: 21453494)」の予算で実施しました。

担当研究者: ○石川千秋、荒木理沙、高山喜晴、庄司俊彦  
所 属: 食品研究部門  
食品健康機能研究領域



**農研機構**  
NARO 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構